

環境経営レポート

(取組期間 2023年4月～2024年3月)



2024年 9月10日
榛原工機株式会社

目 次

NO	項 目		頁
	目次	...	1
I	事業の概要	...	2
	会社の概要	...	2
	沿革	...	2
	事業内容	...	2
	事業形態	...	2
	改善活動	...	2
	事業所所在地	...	2
II	環境経営方針	...	3
III	実施体制	...	4
IV	中期環境経営目標	...	5
V	環境経営計画及び取組内容	...	6-(1)(2)(3)
VI	当社の取組み①②	...	7-(1)(2)
VII	2023年度 環境経営目標の取組結果と評価①②	...	8-(1)(2)
VIII	2024年度 環境経営活動計画	...	9-(1)(2)(3)
IX	2023年度 環境関連法規への違反、訴訟の有無	...	10
X	代表者による全体評価と見直しの結果	...	11

I. 事業の概要

会社概要

- ・会社名 : 榛原工機株式会社
- ・所在地 : 静岡県牧之原市細江6248番地1
- ・設立 : 1983年1月25日
- ・資本金 : 5,000万円
- ・株主 : (株)小糸製作所ほか
- ・代表者 : 取締役社長 八木 賢次
- ・従業員数 : 52名 (2024年4月1日現在)
- ・環境管理責任者 : 取締役工場長 熊切 佳史
(連絡担当者) TEL 0548-22-5665 FAX 0548-22-5775
e-mail kumachan@haibara-kouki.co.jp

沿革

- ・1983年 1月 : 榛原工機株式会社 設立
- ・2007年 3月 : 労働基準局 第一種無災害記録証受賞(100万時間)
- ・2010年 1月 : エコアクション21認証・取得
- ・2011年 11月 : 労働基準局 第二種無災害記録証受賞(150万時間)
- ・2012年 10月 : 静岡労働局安全優良賞 受賞
- ・2018年 6月 : 労働基準局 第三種無災害記録証受賞(230万時間)
- ・2023年 8月 : 労働基準局 26年間無災害記録証受賞

事業内容

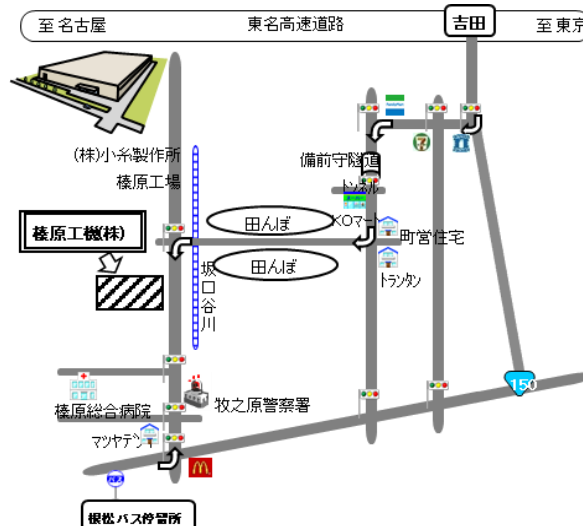
自動車照明部品用樹脂金型の
設計・製造及び販売



改善活動

- ・提案活動 : 2023年度実績 1,421件
- ・QCサークル活動 : 2回/年(6月、12月)
- ・改善論文発表会 : 1回/年(10月)

事業所所在位置



Ⅱ. 環境経営方針

【基本理念】

榛原工機(株)は、樹脂成形用金型の製造に関わる 事業活動において 全社員一丸となり**挑戦「Challenge」・創造「Create」・和「Communication」**の**3C**をもって環境にやさしい「ものづくり」の追求を通して地球環境の保全に配慮した活動を行う。

【基本方針】

1. 環境保全に関する法規制及びその他の合意事項を遵守する。
2. CO2,廃棄物,水使用の削減に努め、廃棄物のリサイクルを推進し、産業廃棄物の削減と省エネ・省資源・省水源を図るとともに、グリーン購入並びに自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮に取り組む。
3. 環境経営目標及び活動項目を設定し、定期的に見直しを行い、環境マネジメントの継続的改善に努める。
4. 社内外ともに、広くコミュニケーションを図り、必要な情報の開示に努めるとともに、この環境経営方針を社員等に周知し、社外に公開する。

(制定) 2009年2月1日

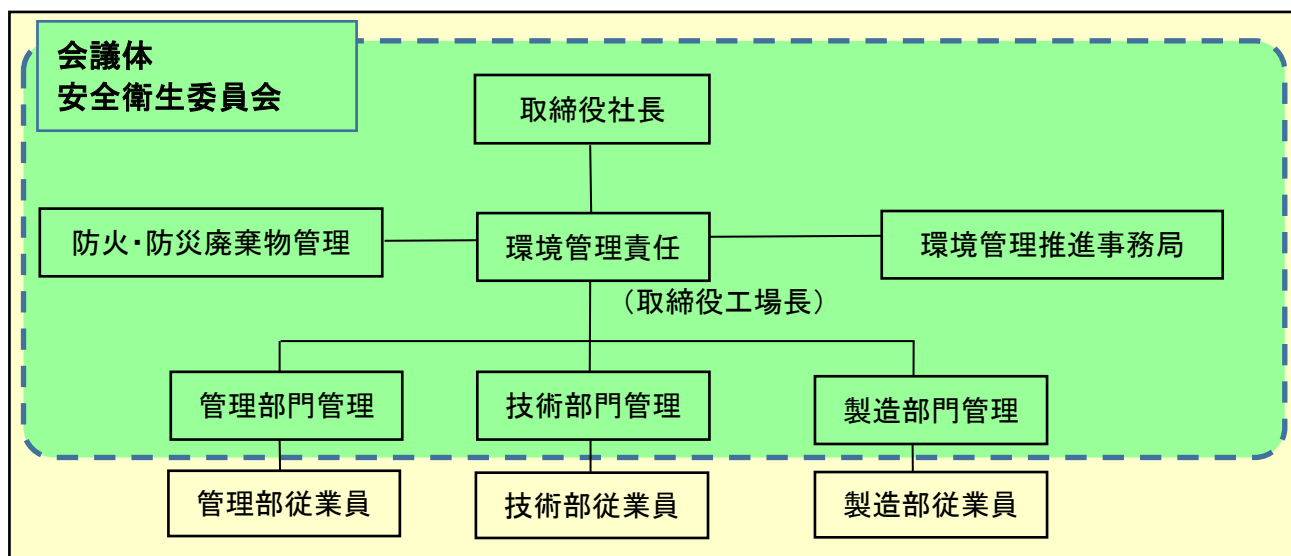
(改定) 2018年4月1日

榛原工機株式会社

取締役社長 八木 賢次

Ⅲ. 実施体制

環境経営システムの実施体制



担当	役割・責任及び権限
代表者(社長)	・環境経営システムの構築、環境経営マニュアルの制定並びに見直し ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針・環境経営目標の決定並びに見直し ・環境経営活動計画の承認 ・環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源(人材・設備・資金等)の準備 ・緊急事態発生時の統括
環境管理責任者	・環境経営システムを確立し、実施・維持管理を継続的に運用 ・環境経営目標、環境経営活動計画の立案 ・環境経営活動計画の推進状況把握と社長への報告 ・該当環境関連法規等の把握と管理 ・環境経営システムに関する規定類の整備 ・環境関連教育、訓練の計画策定と統括 ・緊急事態発生時の対応実施と報告 ・問題点発生に対する是正及び予防措置の対応指導 ・社長による環境経営システムの見直しのための情報を提供
部門管理者	・環境経営活動計画の推進と必要とする資源の準備 ・該当環境関連法規等の遵守状況把握 ・環境教育・訓練の実施 ・緊急事態及び問題点が発生した場合、その処置と是正並びに予防処置の実施と報告 ・運用管理、監視・測定、記録管理
環境管理推進事務局	・環境経営活動の進捗把握と推進の実施 ・環境経営活動実績の把握と環境管理責任者への報告 ・環境経営活動レポートの取りまとめ及び環境経営活動計画立案への参画 ・問題点に対する是正及び予防処置の把握と記録管理 ・各種環境経営活動・イベントの計画と実施
全社員	・環境経営方針を理解し各自決められた役割の中で環境経営活動を実施 ・問題発生時には上司への報告と是正及び予防処置の実施

IV. 中期環境経営目標

環境経営目標項目		単位	実績(BM) 19～'20年平均	2023年度		2024年 年間目標	2025年 年間目標	2026年 年間目標
				年間目標	年間実績			
二酸化炭素排出量削減		kg-CO2	13,706	BMの2%減 13,432	△35.1% 8,892	BMの3%減 13,295	BMの4%減 13,158	BMの5%減 13,021
電力使用量削減 再エネ電力購入につき Co2排出量0		kWh	759,014	BMの2%減 743,834	△17.5% 626,139	BMの3%減 736,244	BMの4%減 728,653	BMの5%減 721,063
化石燃料 使用量削減	ガソリン 〔CO2算定係数 2.32〕	L	1,156	BMの2%減 1,144	△36.2% 738	BMの3%減 1,121	BMの4%減 1,110	BMの5%減 1,098
	軽油 〔CO2算定係数 2.58〕	L	4,273	BMの2%減 4,188	△34.8% 2,784	BMの3%減 4,145	BMの4%減 4,102	BMの5%減 4,059
一般廃棄物排出量削減		kg	3,795	BMの2%減 3,719	+1.4% 3,742	BMの3%減 3,681	BMの4%減 3,643	BMの5%減 3,605
リサイクル紙 (上質紙、新聞紙、ダンボール、雑誌)		kg	1,574	BMの2%減 1,558	△20.6% 1,250	BMの3%減 1,527	BMの4%減 1,511	BMの5%減 1,495
焼却ゴミ		kg	2,221	BMの2%減 2,177	+12.2% 2,492	BMの3%減 2,154	BMの4%減 2,132	BMの5%減 2,110
産業廃棄物排出量削減		ton	2,462	BMの2%減 2,413	△53.6% 1,142	BMの3%減 2,388	BMの4%減 2,364	BMの5%減 2,339
水使用量削減		立方メートル	868	BMの2%減 851	△2.4% 844	BMの3%減 842	BMの4%減 833	BMの5%減 825
グリーン購入の推進(事務用品、備品) (グリーン購入金額／全購入金額 比率)		%	43%	40%以上	54%	40%以上	40%以上	40%以上
金型原価の低減 :標準金型費の△5%		%	—	△5%	△4.2%	△5%	△5%	△5%
加工品質の向上(自責不具合の削減) :前年比△20%		%	—	△20%	△65%	△20%	△20%	△20%

* '23年2月より再エネ電力(静岡Greenでんき)を購入しており、二酸化炭素排出量は化石燃料分のみです。

VIII. 2023年度環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

環境経営活動実施項目			推進部門	具体的活動	改善事例 提出件数
電力使用量削減目標年率1%	1	エアコンの運転温度設定 (冷房時28℃/暖房時23℃)	事務棟	・適正温度管理の推進 ・窓、出入口の開閉管理	
			工場棟		
	2	エアコンの運転・停止の指示と 省エネ改善	事務棟	・運転・停止の支持、事務棟: 室外機に水の噴霧、葦簣等による熱遮断の検討	
			工場棟		
	3	空調機フィルターの清掃	事務棟	・点検表に基づく点検(限度見本との比較)	
			工場棟		
	4	不要な照明の消灯、取り外し 天井照明・クレーン照明、蛍光灯	事務棟	・始業前、自動加工、昼休み、休憩、不在、残業時やトイレの不要照明の消灯 ・消灯喚起、節電標語の掲示 ・責任者の表示	
			工場棟		
	5	機械非稼働時の電源遮断	工場棟	・電源遮断の徹底と待ちロスの撲滅	
	6	コンプレッサー非稼働時の運転停止	工場棟	・負荷感知による自動停止の検討⇒'10/05設置 ・インバーター機の自動停止化	
	7	設備エア漏れの撲滅	工場棟	・夜間や休日の静寂時に点検、もれ部修理	
	8	パソコン省エネ機能の活用	全工場	・未使用時画面消灯	
9	デマンド装置による電力の管理	全工場	・デマンド警報における空調機自動制御の継続運用		
10	電力使用量の見える化 3ヶ年計画	全工場	・分電盤毎の電力使用量の見える化('23年度)・常時監視システム導入('24年度) ・加工機毎の電力使用量管理機能追加('25年度) ・電力量計取付(2月)	1	
11	蛍光灯の省エネ化	全工場	・工場内一部未実施のLED化(昼光色) ・工場内蛍光灯LED化(12月)	1	
12	省エネ機器への更新	全工場	更新設備はエネルギー比較の実施 ・事務棟空調機4台更新(5月) ・外灯のLED化(12月) ・エアーコンプレッサー1台更新(6月)	3	
化石燃料使用量削減目標年率1%	13	タイヤの空気圧チェック	全工場 社用車使用者	・月初に実施(チェックシートは空気圧測定場所に設置)	
	14	不要なアイドリングはしない	全工場 社用車使用者	・チェックシートを各車に設置、降車時自己チェックの実施 ・各車両の燃費の把握	
	15	急発進、急加速はしない	全工場 社用車使用者	同上	
	16	車間距離は余裕をもち ムダなブレーキを踏まない	全工場 社用車使用者	同上	
	17	エンジンブレーキを有効に使う	全工場 社用車使用者	同上	
	18	法定速度厳守で走行する。	全工場 社用車使用者	同上	
	19	不要な荷物はおろす	全工場 社用車使用者	同上	
	20	ドライブレコーダー設置による 省エネ意識の高揚	全工場 社用車使用者	・社用車4台にドライブレコーダー設置済み(22年6月) ・普通トラック更新でドライブレコーダー設置(24年3月)	1



エアーコンプレッサー1台更新('23.6)



電力使用量の見える化3ヶ年計画
電力量計の設置('24.2)



2.廃棄物排出量の削減

2-1 廃棄物削減全般

環境経営活動実施項目			推進部門	具体的活動	改善事例 提出件数
削減目標 標準年率 1%	1	分別の徹底とリサイクルの推進 計量記録管理の実施	全工場	・廃棄物は計量後所定場所に収納 ・ 作業椅子の修理(4月)	1
	2	使い切り商品为避免詰め替え可能な商品を購入する	全工場	・商社等からECO商品の情報入手と改善	
	3	シュレッダー廃棄の削減	全工場	・機密文書の処理業者への持ち込み廃棄の実施 ・シュレッダー廃止の検討	
	4	ウエス使用量の削減	工場棟	・ウエスの再々利用の徹底	
	5	納入業者へ梱包材の削減及び引取りの要請と実施	全工場	・ダンボール、パレットの廃棄ゼロ	

2-2 コピー用紙の削減

環境経営活動実施項目			推進部門	具体的活動	改善事例 提出件数
削減目標 標準年率 1%	6	裏紙の活用	全工場	・片面使用済み用紙置き場の設置と使用の推進	
	7	資料の両面印刷化	全工場	・資料の両面印刷の推進	
	8	コピーサイズの縮小化	全工場	・狙い所会議等部数の多い資料から優先的に実施	
	9	配付資料の削減	事務棟 工場棟	・資料の配付部数削減の推進 ・PCの活用	
	10	資料の電子化(ペーパーレス化)	全工場	・文書、資料類の電子媒体での配布 ・スキャナーの活用 ・プロジェクターの活用 ・ 部品工程表OneNote活用(2月)	1
	11	カラーコピーの削減	全工場	・カラーコピーの原則禁止 ・カラー・白黒使用枚数のカウント(A4換算)	
	12	失敗コピーの削減	全工場	・PC内印刷プレビューの活用	
	13	図面枚数の削減	全工場	・不使用図面の廃止や使用頻度の少ない図面削減	

3、水使用量の削減

環境経営活動実施項目			推進部門	具体的活動	改善事例 提出件数
水の 使用 量の 削減	1	流し放しの防止	全工場	・表示を行い節水を喚起する	
	2	水漏れの防止	全工場	・点検、修理	
	3	油水分離で水の節約	工場棟	・油水分離装置の導入で水溶性切削油の長寿命化	

4、廃油、廃プラ排出量の削減

4-1 廃油の削減

環境経営活動実施項目			推進部門	具体的活動	改善事例 提出件数
目廃 標油 1削 %減	1	切削油の回収率向上	工場棟	・切粉圧縮機の導入による回収(ガンドリル)	
	2	加工液、切削油の削減	工場棟	・EDM加工液、NC機切削油の機外への持ち出し削減	

4-2 廃プラの削減

環境経営活動実施項目		推進部門	具体的活動	改善事例 提出件数	
廃 プラ 削減 目標 1 %	3	リサイクルの推進	全工場	・廃棄物の分類とリサイクル品の洗い出し→分別の実施 ・刃物ケースのメーカーへの返却	
	4	廃棄量の削減	全工場	・代替品の検討や容器の見直しで使い捨ての抑制	

5、グリーン購入の推進

環境経営活動実施項目			推進部門	具体的活動	改善事例 提出件数
情報 購 入 集 と	1	環境配慮製品の情報収集と購入	工場棟	・環境ラベル設定製品、省エネルギー基準適合機器等の環境に優しい 工業用品の情報収集と購入の推進	
	2	環境配慮製品の購入推進	事務棟	・環境に配慮した事務用品・備品等の購入推進と情報収集による拡大	

6、自社の活動 原価低減(加工工数の削減)による企業体質の強化

環境経営活動実施項目		推進部門	具体的活動	改善事例 提出件数
目原 5標 %年 低 率減	1	加工の高速・高効率・高品位化 削減目標 2.5%	全工場 ・加工方法、加工条件の改善（CAM、機械、放電） ・刃具、電極の改善（材質、クリアランス） ・ソフトウェアの改良	52
	2	加工のムダ・購入のムダ排除 削減目標 2.5%	全工場 ・機械：エアカットの極少化（NCデータの改善、ソフトウェア改良） ・組立：仕上げ合せ工数の短縮、放電ジャンプの極少化 ・購入費の削減	82

7、自社の活動 自責不具合削減(品質向上)による企業体質の強化

環境経営活動実施項目		推進部門	具体的活動	対策事例 実施件数
20 % 削 率減	1	技術課:設計ミス、NCデータミスの削減 削減目標 20%	技術課 ・一工程完結/一工程一チェックの遵守 ・CAD/CAMの一元化 ・個人別ウィークポイントの明確化と個人レベルの向上	4
	2	機械課:工程内不具合の削減 削減目標 20%	機械課 ・3現主義で再発防止の実施、一工程一チェックの徹底、 ・工程変更時ドライランによる確認の徹底	2

8、自社の活動 環境訓練及び自然保護活動

環境経営活動実施項目		推進部門	具体的活動	実施件数
へ地の域貢社献会	1 会社周辺の溝掃除とゴミ拾い 溝掃除:1回/年、ゴミ拾い:2回/年	全工場	・構内及び工場周辺河川清掃(5/11実施) ・避難訓練及びび可搬ポンプ訓練(9/22実施)	2

工場周辺河川清掃



VI. 当社の取組み②

防災訓練

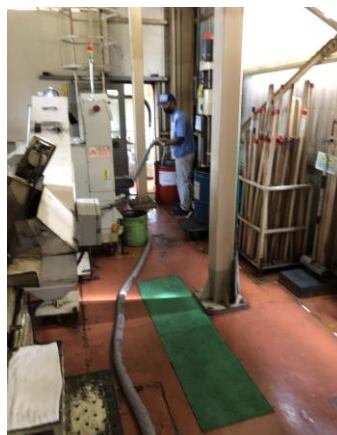
突発性地震を想定しての訓練を行う。



可搬ポンプによる放水訓練 消火活動訓練

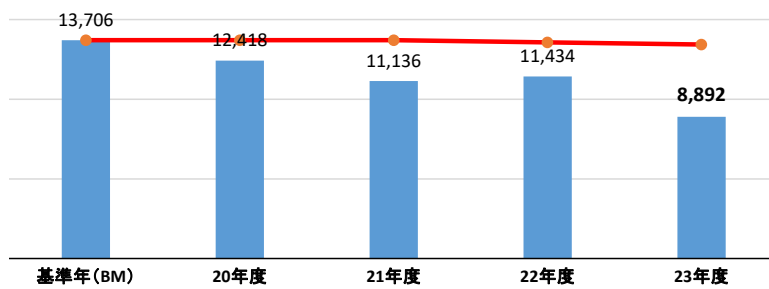


油漏れ流出防止処置するための
オイルフェンス



VII. 2023年度 環境経営目標の取り組み結果と評価①

二酸化炭素排出量の推移



2023年度目標と実績 (kg-CO2)

目標値	13,432
実績値	8,892
達成率(%)	151

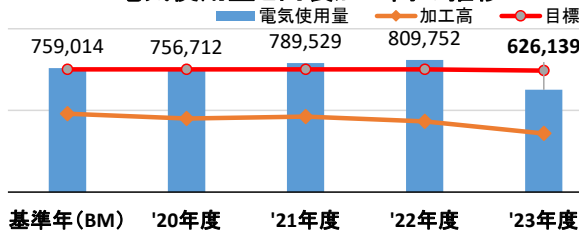
評価

◎

取り組み結果と考察

化石燃料におけるガソリン使用量が大きく寄与して目標を大幅に達成している。

電気使用量と内製加工高の推移



2023年度目標と実績 (kWh)

目標値	743,834
実績値	626,139
達成率(%)	119

(CO2算定係数=0.379)

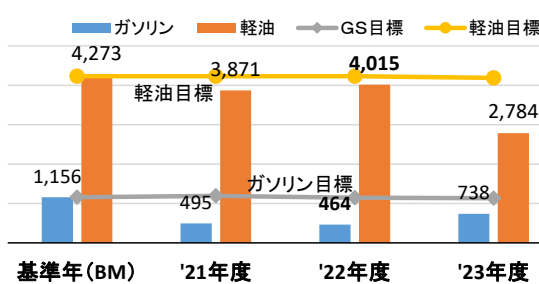
評価

◎

取り組み結果と考察

加工高が前期比で17.2%減少した中、電気使用量は前期比22.7%減少しており、目標を達成している。受注金型の全体量及び大型金型の減少が大きく影響していると思われるが、それでも、照明のLED化などの省エネ機器への更新による効果も考えられる。

化石燃料使用量の推移



2023年度目標と実績 ガソリン (L)

目標値	1,133
実績値	738
達成率(%)	154

(CO2算定係数=2.32)

2023年度目標と実績 軽油 (L)

目標値	4,188
実績値	2,784
達成率(%)	150

(CO2算定係数=2.58)

評価

◎

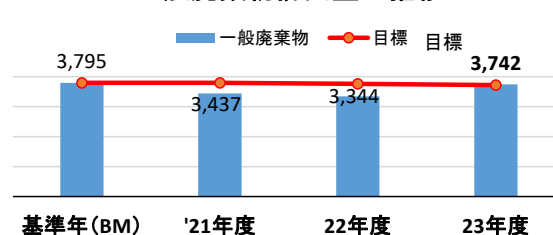
評価

◎

取り組み結果と考察

ガソリンは得意先との会議が引き続きリモートで行われる事が多く、目標を大きく達成している。又、軽油については受注金型減少などの影響で目標を達成出来たと思われる。

一般廃棄物排出量の推移



2023年度目標と実績 一般廃棄物(kg)

目標値	3,719
実績値	3,742
達成率(%)	99

評価

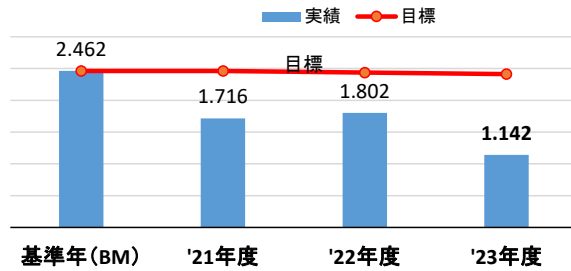
△

取り組み結果と考察

今年度のリサイクル紙は前期比4%増、焼却ゴミが前期比約16%の増加で目標未達。要因は仕事の閑散期における書類整理等で増加したと考えられる。引き続き排出量削減活動を推進して行く。

VII. 2023年度 環境経営目標の取り組み結果と評価②

産業廃棄物排出量の推移



2023年度目標と実績 産業廃棄物(ton)	
目標値	2,413
実績値	1,142
達成率(%)	211

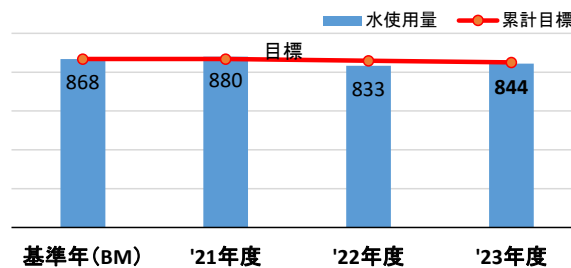
評価

◎

取り組み結果と考察

今年度は昨年度より廃プラ、木くずで増えたものの、廃油量が38%減少で全体として目標値を大きく達成している。

水使用量の推移



2023年度目標と実績 水使用量(m3)	
目標値	851
実績値	844
達成率(%)	101

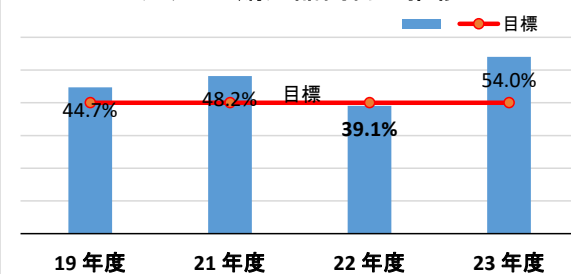
評価

○

取り組み結果と考察

昨年度より1%程増加ではあるが目標値は達成出来た。引き続き、節水に心掛けると共に各工作機械の切削水の寿命をなるべく延ばす対策を考えて行く。

グリーン購入品割合の推移



2023年度目標と実績 グリーン購入割合(%)	
目標値	40%以上
実績値	54.0%
達成率(%)	135.0%

評価

◎

取り組み結果と考察

・プリンタのリサイクルトナーをグリーン商品に変えた事で目標値を達成出来た。

評価

◎達成率110%以上
○達成率100%～109%
△達成率90%～99%以下

VIII. 2024年度環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

環境経営活動実施項目			推進部門	具体的活動	改善事例 提出件数
電力使用量削減目標年率1%	1	エアコンの運転温度設定 (冷房時28℃/暖房時23℃)	事務棟 工場棟	・適正温度管理の推進 ・窓、出入口の開閉管理	
	2	エアコンの運転・停止の指示と 省エネ改善	事務棟 工場棟	・運転・停止の支持、事務棟: 室外機に水の噴霧、葦簀等による熱遮断の検討	
	3	空調機フィルターの清掃	事務棟 工場棟	・点検表に基づく点検(限度見本との比較)	
	4	不要な照明の消灯、取り外し 天井照明・クレーン照明、蛍光灯	事務棟 工場棟	・始業前、自動加工、昼休み、休憩、不在、残業時やトイレの不要照明の消灯 ・消灯喚起、節電標語の掲示 ・責任者の表示	
	5	機械非稼働時の電源遮断	工場棟	・電源遮断の徹底と待ちロスの撲滅	
	6	コンプレッサ非稼働時の運転停止	工場棟	・負荷感知による自動停止化	
	7	設備エア漏れの撲滅	工場棟	・夜間や休日の静寂時に点検、もれ部修理	
	8	パソコン省エネ機能の活用	全工場	・未使用時画面消灯	
	9	デマンド装置による電力の管理	全工場	・デマンド警報における空調機自動制御の継続運用	
	10	電力使用量の見える化 3ヶ年計画	全工場	・分電盤毎の電力使用量の見える化('23年度)・常時監視システム導入('24年度) ・加工機毎の電力使用量管理機能追加('25年度) ・電力量計取付済み('24/2月)	
	11	蛍光灯の省エネ化	全工場	・工場内一部未実施のLED化(昼光色)	
	12	省エネ機器への更新	全工場	更新設備はエネルギー比較の実施 ・食堂・現場事務所のエアコン更新(6月)	1
化石燃料使用量削減目標年率1%	13	タイヤの空気圧チェック	全工場 社用車使用者	・月初に実施(チェックシートは空気圧測定場所に設置)	
	14	不要なアイドリングはしない	全工場 社用車使用者	・チェックシートを各車に設置、降車時自己チェックの実施 ・各車両の燃費の把握	
	15	急発進、急加速はしない	全工場 社用車使用者	同上	
	16	車間距離は余裕をもち ムダなブレーキを踏まない	全工場 社用車使用者	同上	
	17	エンジンブレーキを有効に使う	全工場 社用車使用者	同上	
	18	法定速度厳守で走行する。	全工場 社用車使用者	同上	
	19	不要な荷物はおろす	全工場 社用車使用者	同上	
	20	ドライブレコーダー設置による 省エネ意識の高揚	全工場 社用車使用者	・社用車3台にドライブレコーダー設置済み(18年1月) ・普通トラック更新でドライブレコーダー設置済み(24年3月)	

2.廃棄物排出量の削減

2-1 廃棄物削減全般

環境経営活動実施項目			推進部門	具体的活動	改善事例 提出件数
削減目標 年率1%	1	分別の徹底とリサイクルの推進 計量記録管理の実施	全工場	・廃棄物は計量後所定場所に収納	
	2	使い切り商品を避け詰め替え可能な商品を購入する	全工場	・商社等からECO商品の情報入手と改善	
	3	シュレッダー廃棄の削減	全工場	・機密文書の処理業者への持ち込み廃棄の実施 ・シュレッダーによる廃棄を最小化	
	4	ウエス使用量の削減	工場棟	・ウエスの再々利用の徹底	
	5	納入業者へ梱包材の削減及び引取りの要請と実施	全工場	・ダンボール、パレットの廃棄ゼロ	

2-2 コピー用紙の削減

環境経営活動実施項目			推進部門	具体的活動	改善事例 提出件数
削減 目標 年率 1	6	裏紙の活用	全工場	・片面使用済み用紙置き場の設置と使用の推進	
	7	資料の両面印刷化	全工場	・資料の両面印刷の推進	
	8	コピーサイズの縮小化	全工場	・狙い所会議等部数の多い資料から優先的に実施	
	9	配付資料の削減	事務棟 工場棟	・資料の配付部数削減の推進 ・PCの活用	
	10	資料の電子化（ペーパーレス化）	全工場	・文書、資料類の電子媒体での配布 ・スキャナーの活用 ・プロジェクターの活用	
	11	カラーコピーの削減	全工場	・カラーコピーの原則禁止 ・カラー・白黒使用枚数のカウント（A4換算）	
	12	失敗コピーの削減	全工場	・PC内印刷プレビューの活用	
	13	図面枚数の削減	全工場	・不使用図面の廃止や使用頻度の少ない図面削減	

3.水使用量の削減

環境経営活動実施項目			推進部門	具体的活動	改善事例 提出件数
水の 使用 量の 削減 の 推進	1	流し放しの防止	全工場	・表示を行い節水を喚起する	
	2	水漏れの防止	全工場	・点検、修理	
	3	油水分離で水の節約	工場棟	・油水分離装置の導入で水溶性切削油の長寿命化	

4、廃油、廃プラ排出量の削減

4-1 廃油の削減

環境経営活動実施項目			推進部門	具体的活動	改善事例 提出件数
目 廃 標 油 1 削 % 減	1	切削油の回収率向上	工場棟	・切粉圧縮機の導入による回収(ガンドリル)	
	2	加工液、切削油の削減	工場棟	・EDM加工液、NC機切削油の機外への持ち出し削減	

4-2 廃プラの削減

環境経営活動実施項目		推進部門	具体的活動	改善事例 提出件数	
目標1%削減	3	リサイクル化の推進	全工場	・廃棄物の分類とリサイクル品の洗い出し→分別の実施 ・刃物ケースのメーカーへの返却	
	4	廃棄量の削減	全工場	・代替品の検討や容器の見直しで使い捨ての抑制	

5、グリーン購入の推進

環境経営活動実施項目			推進部門	具体的活動	改善事例 提出件数
情報 購入 収集 と	1	環境配慮製品の情報収集と購入	工場棟	・環境ラベル設定製品、省エネルギー基準適合機器等の環境に優しい工業用品の 情報収集と購入の推進	
	2	環境配慮製品の購入推進	事務棟	・環境に配慮した事務用品・備品等の購入推進と情報収集による拡大	

6、自社の活動 原価低減(加工工数の削減)による企業体質の強化

環境経営活動実施項目			推進部門	具体的活動	改善事例 提出件数
標 原 年 価 率 低 5 減 % 目	1	加工の高速・高効率・高品位化 削減目標 2.5%	全工場	・加工方法、加工条件の改善(CAM、機械、放電) ・刃具、電極の改善(材質、クリアランス) ・ソフトウェアの改良	
	2	加工のムダ・購入のムダ排除 削減目標 2.5%	全工場	・機械:エアカットの極少化(NCデータの改善、ソフトウェア改良) ・組立:仕上げ合せ工数の短縮、放電ジャンプの極少化 ・購入費の削減	

7、自社の活動 自責不具合削減(品質向上)による企業体質の強化

環境経営活動実施項目				推進部門	具体的活動	対策事例 実施件数
20 年 削 率 減	1	技術課:設計ミス、NCデータミスの削減 削減目標 20%	技術課	・一工程完結/一工程一チェックの遵守 ・個人別ウイークポイントの明確化と個人レベルの向上 ・CAD/CAMの一元化		
	2	機械課:工程内不具合の削減 削減目標 20%	機械課	・3現主義で再発防止の実施、一工程一チェックの徹底、 ・工程変更時ドライランによる確認の徹底		

8、自社の活動 環境訓練及び自然保護活動

環境経営活動実施項目		推進部門	具体的活動	実施件数	
貢献 地域への 社会	1	会社周辺の溝掃除とゴミ拾い	全工場	・構内及び工場周辺河川清掃(5/9実施) ・避難訓練及び可搬ポンプ訓練(9/2予定)	1
		溝掃除:1回/年、ゴミ拾い:2回/年			

IX. 2023年度 環境関連法規への違反、訴訟の有無

承認	作成
	

(1) 当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

作成 2024年 9月 6日

法規等の名称	適用内容	チェック	備考(規制基準値、その他)	評価日		遵守結果
廃棄物処理法 (静岡県環境基本条例)	・保管施設の表示と保管基準の遵守 ・運搬、処分等の委託基準遵守 ・委託契約書の保管 ・マニフェストの管理・保管・報告 ・委託先の現地確認の実施	都度	表示板掲示(60cm以上) 契約書・業者の許可証 5年間保管 5年間保管(A/B2/D/E票) 年間発行状況の報告(毎年5月) 天星製油、東海特殊マテリアルス 環境のミカタ	2024/9/3	環境管理 推進 事務局	○
騒音規制法 (静岡県環境基本条例)	・特定施設からの騒音に関する規制 基準の遵守及び施設の届け (都市計画区域無指定地域)	特定施設 申請数 変更時	特定施設 (原動機定格出力 7.5KW以上のもの)	2024/9/3	環境管理 推進 事務局	○
振動規制法 (静岡県環境基本条例)	・特定施設からの振動に関する規制 基準の遵守及び施設の届け (都市計画区域無指定地域)	特定施設 申請数 変更時	特定施設 (原動機定格出力 7.5KW以上のもの)	2024/9/3	環境管理 推進 事務局	○
フロン排出抑制法	・全ての業務用冷凍空調機 エアコン、オイルマチック エアードライヤー	年6回 (6・9・12・3月)	3ヶ月1回以上の簡易点検 電動機出力7.5KW以上は3年に 1回以上の定期点検	簡易 点検時	環境管理 推進 事務局	○
消防法 (危険物 第4類第3石油類)	・危険物の表示 消火器設備の点検	年2回	市町村長等への設置・変更届け 消防署への報告(1回/3年)	2024/9/3	環境管理 推進 事務局	○
浄化槽法	・法定検査 ・保守点検及び清掃	年4回	指定検査機関による検査を受ける 4ヶ月に1回保守点検を行う	2024/9/3	環境管理 推進事務局	○
労働安全衛生法	・通知対象物質の取扱に関する 内容の労働者への周知等	都度	SDシートのコピーを 職場に設置する	2024/9/3	環境管理 推進事務局	○
グリーン購入法	・再生資源その他の環境への負荷 低減に資する原材料、部品	都度	事務用品のグリーン購入の推進	2024/9/3	環境管理 推進事務局	○
家電リサイクル法	・特定家庭用機器廃棄物管理票 マニフェストの管理・保管	都度	当該廃棄物を再商品化実施業者 に引渡す時にマニフェストを交付 して3年間保管する	2024/9/3	環境管理 推進 事務局	○
自動車リサイクル法	・リサイクル料金の支払い ・登録の引取業者への引渡	都度	新車購入時及び最初の車検時に 適用	2024/9/3	環境管理 推進 事務局	○

(2) '22/4～'23/3月の間、環境に関して関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟はありませんでした。

X. 代表者による全体の評価と見直し

報告	作成
	

作成 2024年 9月 6日

1・ 見直し 関連情報	項 目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書	☒ :
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☒ :
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	☒ : 金型原価低減を主に各項目の中で改善を実施して150件の事例が出された。
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒ :
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒ : 近隣住民から当社敷地にある桜の木に付いた毛虫の駆除を依頼された。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒ :
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☒ :
	8	その他()	☒ :

	各項目において目標値を概ね達成している。背景には電力使用量においてGreenでんきに代えた事でCo2排出量ゼロとなった事。又、受注量の減少により加工高や運搬量等の減少が大きく影響している。省エネ活動としては照明のLED化や空調機の更新などの対策を実施してきた事を評価したいと思う。引き続き、カーボンニュートラル活動を積極的に進める。			
	評価日 2024年9月6日 榛原工機株式会社 取締役社長 八木賢次			
2・代表者による全体評価・見直し指示	見直し項目		変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	有・ ☒ 無	・継続していく
	2	環境経営目標・計画	有・ ☒ 無	・継続していく
	3	環境経営計画・取組項目	有・ ☒ 無	・継続していく
	4	実施体制	有・ ☒ 無	・継続していく
	5	その他のシステム要素	有・ ☒ 無	・継続していく
	6	その他(外部への対応)	有・ ☒ 無	・継続していく